



メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように  
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	「新改革プラン」から半年 統合問題は怎么样了！？…… 1	カレンダー	2021年6月の comm cafe ランチカレンダー…… 5
紹介	職員紹介…… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ…… 6
コラム	アートの小箱をあけてみる「千里おーどニュータウン」…… 4	編集後記	…… 8

## 「新改革プラン」から半年 統合問題は怎么样了！？

「メイプル文化財団と国際交流協会の統合」。昨年末、箕面市が発表した「新改革プラン」に盛り込まれたこの項目に、驚いた方も多かったろう。あれから半年が過ぎた。この重大案件はどうなっているのか。この間の経緯をふりかえりながら、協会周辺の動きについて報告する。(めろん編集グループ)

### 「新改革プラン」の発表

2020年11月30日、箕面市は「『(仮称)箕面市新改革プラン』について(素案)」と題する報道資料を発表し、ホームページ上にその内容をまとめた14頁の資料を掲載した。また、1月8日までの間、パブリックコメントの募集を行うと発表した。この素案では「改革の5つの柱」が掲げられたが、その一つ「各種団体の見直し」として、冒頭の「メイプル文化財団と国際交流協会の統合」が挙げられたのだ。ボランティアや関係者には説明がなく、突然の発表だった。

箕面市新改革プラン ▶



12月16日にはメイプルホールで、箕面市による素案に関する市民向けの説明会が開催された。70名(箕面市HPより)の市民が参加し、幼稚園・保育所の民



▲ 箕面市国際交流協会の事務所が入る多文化交流センター外観

箕面市：説明会での質疑応答 ▶



営化案などについて厳しい意見や質問が投げかけられた。また、協会関係者も参加していたが、時間の関係で統合に関する質問は取り上げられなかった。

協会のボランティアや長くかかわる市民は不安と疑問の声を事務局によせたが、この時点で事務局は、「箕面市が公表している以上の情報は事務局にもない。パブリックコメントが募集されているので、意見や質問があればそちらによせてほしい」と現状を伝えるのみだった。

### パブリックコメント募集とその結果

翌1月8日にパブリックコメントは締め切られ、その内容と箕面市の回答がホームページ上に公開された。それによると、612人(個人・団体)から1,056件の意見が寄せられ、そのうち243件が「各種団体の見直し」に関することであった。これは、最も多く意見が寄せられた幼稚園・保育所の民営化を含む「新アウトソーシング計画に関すること」(493件)に次ぐ意見数となった。

市民意見集 ▶



発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：336名 法人会員数：30団体 (2021年5月16日現在)

243件のうち両財団の統合に関する意見が220件。そのうち約89%は統合に反対、1%が賛成、残りの10%は統合の是非には触れずに意見述べるものだ。反対意見で最も多いのは、両財団の事業目的が異なること、また「文化事業」が「類似点」として強調されていることから、統合によって事業が「文化交流」に偏重し、協会が担ってきた外国人支援や多文化共生の取り組みが縮小されるのではないかと、という指摘だ。協会がその独自の存在をなくすことは「時代に逆行している」と指摘する意見も多い。統合＝「国際交流協会とその事業がなくなる」と受け止めている意見、あるいは、これまでの事業が縮小される、と理解している意見が多い。また、実際に国際交流協会の事業を利用してきた多くの外国人市民やボランティア、利用者としてかかわってきた市民が、自らの経験から事業と協会の存続を願う切実な声を寄せていることも特徴的だ。

パブリックコメントの結果を受けて、箕面市は2月に「市民意見に対する市の基本的な考え方」を発表するとともに、(仮称)と(素案)をはずした「箕面市新改革プラン」を発表した。また4月に入ってから個別の意見に対する回答をホームページに公表している。

市民意見に対する市の基本的な考え方 ▶

市民意見 1,056 件に対する市の考え方 ▶



「基本的な考え方」では、まず両財団について「非常に重要な役割を担っており」、「本市にとってなくてはならない組織」とする。そして、統合の意義について「両財団のこれまでのノウハウや特性をうまく組み合わせながら、新たな取り組みを生み出すことができる」と述べる。また、「日本語教室の開催や多言語相談の実施、外国にルーツを持つ子どもたちの居場所づくり・学習支援、日本人・外国人がともに交流できる comm cafe の運営など、外国人市民がより安心して暮らせるような取り組み」については、「これら事業やノウハウは、将来にわたって継承されるべきもの」、「両財団の事業の縮小や comm cafe の閉鎖の考えはありません」としている。



▲ 定期開催している「外国にルーツのある子どもと保護者のための小学校生活についての相談会」

その一方で、「団体の財政基盤の脆弱性」を課題として挙げ、統合によって「庶務・総務機能」などの「事務の効率化を図る」

ことで「経費の削減」となり、「新たな事業展開につながる」「健全な経営基盤の構築ができる」とまとめている。

全体として「基本的な考え方」は、当初の素案と内容に変化はない。「事業の縮小はしない」としている点は、パブリックコメントへの応答ともいえるが、考え方を述べるにとどまり、具体的な内容はまだ示されていない。また、「財政基盤の脆弱性」が何を指しているのかも不明だ。市がうたう「相乗効果」をめざすにしても、統合せずとも相乗効果は出せるのであり、なぜ「統合ありき」なのかその理由ははっきりしない。

### 「統合案」をめぐる種々の動き

こうしたなか、2月中旬には上島市長が急遽、多文化交流センターに来館し、協会職員との懇談会が行われた。事務局によると、この場には事務局長以下、約10名の職員が参加し、「両財団の類似性」についての疑問、外国人支援や多文化共生の取り組みの重要性と強化の必要性、雇用面への影響の危惧などの発言があり、これに対し市長からは「基本的考え方」と同じく事業・組織は縮小せず、むしろ発展させたい、両財団のノウハウを生かして相乗効果を発揮してほしい、との説明がなされたとのことだ。



▲ 箕面市役所外観

一方、市民の間では「協会が消滅するのではないか」との危惧から、市長と市議会議長あての要望書を提出しようという動きがはじまった。「時代に逆行して他の公益財団法人と統合することに反対し、国際交流協会としての存続を要望します」とする要望書には、1,509筆の署名が寄せられ、3月10日に提出された。「(公財)箕面市国際交流協会の存続と発展を願う市民の会」の世話人の一人、斎藤さんはめろん編集グループの取材に対し、「長年のボランティア活動の中で、国際交流事業に在住外国人との共生事業が加わった流れも見てきました。人権を柱とした活動は国内でも先進的で、今後も継続していくことを願っています」と語る。

こうした中、市議会では3月4日から5日に行われた代表質問において、すべての会派がこの件について言及した。「両者に健全な経営基盤でない実態があるのか」、「統廃合の膨大な事務処理や打ち合わせに要する時間や手間の割には、得るものが大きいとは思えない」、「統合前のそれぞれの課題は何か」、「統合しなくてもできないのかということをもまずは検討すべき」などの発言がなされた。

令和3年度施政及び予算編成方針に  
対する代表質問動画配信



協会の組織としての見解はどうか。この間、協会事務局は統合案について公式な立場表明を行っていない。ボランティアや市民が様々な場面で協会の管理職に問うと、「箕面市からは統合の具体的な中身についての提示がまだなく、現状ではその是非についてコメントすることができない」との返答が返ってくる。統合するとなれば、いずれかの財団が解散することになる。組織の存立にかかわる事柄について軽々に発言することができないのも頷ける。が同時に、発表から半年が過ぎた今、この問題がどのように進もうとしているのか、当の協会から組織的な説明がなければ、市民やボランティア、職員に不安や憶測が広がるのも避けられない。

「事業は縮小しない。むしろ発展させる」という箕面市の説明は、パブリックコメントや協会関係者からの声を受けたものともいえるだろう。しかし、問題はの中身だ。これからの箕面市にとって、文化施策と多文化共生施策のそれぞれに、どのような将来ビジョンが必要なのか。そのビジョンをバランスよく実現するための最善の道は何か。皆が納得するためには、そのことについて前提なしの対話を積み重ねていくことが求められているのではないか。今後の動きを注視していきたい。



▲ comm cafe のある日の様子

## ●職員紹介●

## トルガー・エネビシさん



▲エネビシさん

2020年4月から協会職員になりました。今春からは、コムカフェの運営チームの一員として関わっています。協会との最初の出会いは2005年、モンゴル国立大学在学中に文部科学省奨学生として来日した時。大阪外国語大学(当時)の広いホールで、ホストファミリープログラムの参加学生に向けて話されていた協会の方をいまだ覚えています。

当時20歳そこそこの私に物事の多面性に気づく視点を持ってほしいと、ホストファミリーの方が、様々な場所に連れ出してくれました。日雇い労働者や野宿者が多く集まる釜ヶ崎や、地域の中の課題に取り組む暮らしづくりネットワーク北芝、箕面市内にある特別養護老人ホームなど。大学に所属するだけでは絶対に出会うことのなかった人や団体とつながり、経済的に豊かな国

とされる日本にも、様々な面があることを知りました。

大学卒業後、首都ウランバートルに急増する地方からの移住者とともにコミュニティ作りや課題解決をもとに考えるNGO「持続可能な発展のためのジェンダーセンター」で5年間働きました。日本での「経済発展の裏側には語られない人々がいる」ことを知る経験がなければ歩んでいなかった道です。その後、研究員として再来日する機会を得て、大阪大学の修士・博士課程へ進学。その間も、継続的にモンゴルと日本を繋ぐ市民レベルの交流の架け橋として尽力してきました。

国際交流協会という組織がカフェを運営していることに大きな可能性を感じています。それは、人と人が繋がる場を、コンセプトだけに終らせず、根源的・物理的に提供しているからです。

毎月1本、視点を豊かにする作品を紹介してきた【みのおcinema上映会】。今年は、「食」をテーマに開催予定です。カフェのシェフやボランティアの方はもちろん、協会に繋がる皆さんと共に、多面的に物事を考え、そして関係性を深めるような場を作っていきたいと思っています。(聞き手：末原)



▲地方から移住してきた女性に聞き取りをするエネビシさん

編集部注：実はエネビシさん、「めろん」の記念すべき第1号に、ホストファミリーの安達さんと共に登場されています。お手元に本誌のある方は、ぜひご確認ください。

コラム

## アート的小箱

Vol. 9

多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー(協会職員)による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。  
\*イベント「アート的小箱を開けてみる」は絶賛不定期開催中!



## 千里おーどニュータウン

前回このコラムで、「箕面(北摂)に文化がない」と書いたが、これに対して何人かの方から反応があった。「私もそう思っていた!」という声を頂いた一方で、「いや、そうとも言い切れない」という声も頂いた。その中のお一人が、「千里ニュータウンはそもそも計画的に設計された都市で、文化的な豊かさも視野に入れていた」と教えてくださった。その声を受けて、「ニュータウン」の成り立ちを調べるべく、私は南千里駅の近くにある「千里ニュータウン情報館」へ取材に出かけた。



▲ニュータウンができた頃、賑わいをみせる「近隣センター」

情報館では、吹田市役所土木課に長年勤務されていた曾谷さんから、「ニュータウン」、そして「北摂」の成り立ちをじっくりと伺うことができた。千里ニュータウンのある地域は、もとは「なんもないところ」だったそうで、地図を見ると、本当にごく一部の地域(上新田村、弘済院のある山田村)以外は、山であった。そこへ1960年に突如、街が生まれた。生まれて60年の街である。人間ならば初老の年頃だが、大阪の中部や南部のように、連綿と続いてきた歴史を持つ街と比べると、まだ若者と言っていだろう。

ももとは、高度経済成長期で人口が膨れ上がった大阪市内の労働者の、生活の基盤として作られた街であるから、とにもかくにも衣食住がなくてはならなかった。その拠点として作られたのがこの地域特有の「近隣センター」である。各地域に1か所ずつあり、ここには、地域で生活を完結できるすべてがそろっていた。八百屋や魚屋、肉屋は各1店舗ずつ、自転車屋、金物屋、銭湯、、、曾谷さんは言う「当時は『団地』そのものが文化だったのです。」

今、多くの人にとって衣食住が満たされていることは特別なことではないだろう。だが、当時、まったくしがらみのない土地で最先端の住居に住み、必要なものは徒歩圏内に完備されている居住環境は画期的だっただろう。住む人たちはそのことを誇りに感じていたかもしれない。今私が、ニュータウンに物足りなさを感じるの「衣食住」がある「だけ」に思えてしまうからだが、当時にはそのことが最重要事項であったことを痛切に感じた。

衣食住の次の段階の豊かさのひとつが文化(アート)であることは間違いないと思う。たしかに、街には立派な美術館があるしカルチャーセンターの講座も充実している。それも文化的な生活のひとつの指標だろう。しかし、それらは本当に「私たちのもの」だろうか?アートは心の糧である。ならば、誰でもいつでも手が届くものであっていいはずだ。お金がなくてアートに触れられない、心の豊かさを得ることができないのではあまりにも貧しい。私たちはどのような「豊かさ」を求めるのか考えなくてはならない。

「ニュータウン」をただ「古く」するのではなく、歳を重ねて「成熟」していくには何が必要か、他者に委ねるのではなく、私たち一人ひとりが試行錯誤していくしかないのかもしれない。



▲風呂がなかった団地のために開発された、後付けの簡易型ユニットバス「バスオール」。情報館に展示されている。

## 千里ニュータウン情報館 施設情報

住所 : 565-0862 吹田市津雲台1丁目2番1号

千里ニュータウンスラザ2階

電話 : 06-6155-3933

開館時間 : 9:00 ~ 17:30

入場無料・月曜日休館(祝日の場合はその翌日)



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

## おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日: 土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/

【住所】〒562-0023

箕面市粟生岡谷西3-7-9 シャトー野間1F

阪急バス停留所「空の前」スーパーマルヤス向い

□無料駐車場有

TEL : 072-730-0721



エスパーオ

能勢

espero osaka

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の  
多言語による生活相談窓口電話 072-727-6912  
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

6月  
June



# comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

**火～土**  
 ★朝カフェ… 09:30～11:30  
 ★ランチタイム… 11:30～14:00  
 \*売り切れ次第終了します\*  
 ★午後カフェ… 14:00～17:00

**日・祝日**  
 ★世界の朝ごはん (ドリンク付 660円)  
 …10:00～13:00 \*ランチはありません  
 ★ランチセット (ドリンク付 510円)  
 …09:30～15:00 \*ランチはありません

ランチは880円(税込)です。  
 \*ランチタイムのみプラス100円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつけます。  
 ●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255

☒… スナック or スウィーツの日 ☑… カフェで開催するイベント  
 各種イベントの詳細は「めろん」P 6・7をご覧ください。

## comm cafe からのお知らせ

平日もモーニングははじめました! 9:30am～11:00am L.O.

◆ブリヌイセット 510円◆ プリヌイはロシアのクレープで、中はマッシュポテトとひき肉が入っています。  
 ◆ドラニキセット 510円◆ ドラニキはベラルーシのじゃがいもパンケーキ。ピクルスとヨーグルトがつけます。  
 いずれもドリンク(コーヒー、紅茶、ジュース)をお選びいただけます。

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
	<b>1</b> トウエットさん 《ベトナム》	<b>2</b> 山口さん 《中国》	<b>3</b> ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	<b>4</b> ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	<b>5</b> ルーバさん 《インド》	<b>6</b> ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
<b>7</b> 休館日	<b>8</b> ノックさん 《タイ》	<b>9</b> 李さん 《コリア》	<b>10</b> ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	<b>11</b> ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック ☑ 10:00～11:00 協会職員と話そう!	<b>12</b> フランクリンさん 《キューバ》	<b>13</b> ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00～13:00
<b>14</b> 休館日	<b>15</b> コブさん 《タイ》	<b>16</b> ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	<b>17</b> アイリンさん 《イラン》	<b>18</b> ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	<b>19</b> アズドゥさん 《セネガル》 ☑ 18:00～20:00 みのお cinema 「都市を耕す エティオピア」	<b>20</b> ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
<b>21</b> 休館日	<b>22</b> ホーさん 《香港》	<b>23</b> 李さん 《コリア》	<b>24</b> ノックさん 《タイ》	<b>25</b> ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	<b>26</b> イヴァニーさん 《ブラジル》	<b>27</b> ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00～13:00
<b>28</b> 休館日	<b>29</b> 協会主催事業のため ランチはお休みです。 ★カフェは15:00 から利用できます。	<b>30</b> ジェニーさん 《アルメニア》	★6/5 インド、デリー出身の ルーバさん (ヴィーガンランチ)、 6/12 キューバ出身 フランクリンさん による チャレンジカフェをお楽しみに!			

★コロナウイルス感染拡大防止対策のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



# 国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで  
 ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

電話: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** E-mail: **info@mafga.or.jp**

定例イベント	<b>読書会</b> <b>6/13 (日)</b> <b>10:30 ~ 12:00</b>	<b>多文化共生理解のための読書会</b> 「わたしもじたいのいちぶです 川崎桜本・ハルモニたちがつづった生活史」を読む。 本を読んで集まり、感じたこと、考えたことを話しましょう。	定員: 10名 (要申込み) 場所: comm cafe 参加費: 無料
	<b>上映会</b> <b>6/19 (土)</b> <b>18:00 ~ 20:00</b>	<b>みのお cinema 上映会</b> 毎月1本、視点を豊かにする映画を上映 <b>【上映作品】 都市を耕す〜エディブルシティ〜</b> 監督 アンドリュウ・ハッセ / 2014年 / 56分 / 米国 経済格差の広がる社会状況を背景に、新鮮で安全な食を入手するのが困難な都市で、市民自らが健康で栄養価の高い食べ物を手に入れるシステムを取り戻そうとさまざまな活動が生まれて行く。	定員: 10名 (要申込み) 場所: comm cafe 参加費: 一般 700円 賛助会員・大学生 500円 高校生以下 無料 (+ドリンク代 300円~)
	<b>読書会</b> <b>6/20 (日)</b> <b>14:00 ~ 16:00</b>	<b>Sunday Book Review</b> 英語の原書を一緒に読みましょう! 読む本: The Remains of the Day / 日の名残り 著者: Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ	場所: ボランティア活動室 参加費: 300円 + ドリンク代 申込み: 初参加の場合要申込
<b>意見交換会</b> <b>6/11 (金)</b> <b>10:00 ~ 11:00</b>	<b>MAFGA 職員と話そう!</b> 恒例の「理事長と話そう!」から派生した、市民と協会職員と対話の場。地域の多文化共生を共に進めるために、私たち一人ひとは、何ができるのか? さまざまな課題について話あいましょう。 ◎岩城あすか (総務課長、めろん編集グループ)	定員: 10名 (要申込み) 場所: オンライン (Zoom) 参加費: 無料	

大切な  
お知らせ

## 2021年度の賛助会員募集中



公益財団法人箕面市国際交流協会は、「税額控除対象法人」です。今年度から2,000円の会費が廃止となり、税額控除が受けられる個人会員(3,000円)に統一いたしました。  
 今年度未更新の方、また、まだ会員でない方は、ぜひこの機会に新規ご入会をご検討ください。  
 特典等は右の表をご確認ください。

—— 2021年度の会員期間 ——  
 入会日 ~ 2022年3月31日まで

会員の種類	年会費	備考 (特典など)
個人会員	一口 3,000円	ニュースレターの郵送、ボランティア保険の加入、セミナーの割引、語学講座の割引対象、comm cafeで使用できるクーポン券1,000円分(2021年度に限り有効)を謹呈
法人会員	一口 10,000円	ニュースレターの郵送、協会発行ニュースレターなどの広告料の割引、セミナー及び語学講座受講料の割引(3名まで)、会費の損金算入(税制優遇措置)

## 唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員

\*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)  
 072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



## 他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

### オンラインセミナー

6/5 (土)  
16:00 ~ 18:00

### ミャンマー(ビルマ)の民主化を求める市民のいま ～日本の私たちにできること～

民主化の道を歩み始めていたミャンマーでの軍事クーデター。反対の声をあげ、デモをする人たちの弾圧が継続していることを受けて開催。  
◎ 中尾恵子 (日本ビルマ救援センター (BRCJ) 代表)  
「市民不服従運動 (CDM) 支援の取り組みと在日ビルマ人支援」  
◎ チェリー (ミャンマー出身・関西在住、医療機器メーカー社員)  
「日本からミャンマー情勢を見つめて」

場所 : オンライン (zoom)  
参加費 : 無料  
主催 : (一財) アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪)  
webmail@hurights  
06-6543-7003



### オンライン

6/6 (日)  
～  
6/27 (日)

### 第18回音楽の祭日 2021 in みんな

プロ・アマを問わずにみんなで音楽を楽しむイベント。フランスで1982年にはじまった「音楽の祭典」にならい、2002年関西からスタート! 「音楽はすべての人のもの」という精神にのっとり、1年で昼が一番長い夏至の前後の日に開催! 開催期間中、特設サイトにさまざまな音楽を動画でお届け!

場所 : オンライン (zoom)  
参加費 : 無料 (申込不要)  
主催 : 国立民族学博物館

音楽の祭日 2021 in みんな  
特設サイト



### オンライン上映会

6/16 (水)  
18:00 ~ 20:00  
6/27 (日)  
13:00 ~ 15:00

### ドキュメンタリー映画「最も危険な年」

◎原題 The most dangerous year/ 監督ヴィラダ・ノウルトン/2018/90分/米国  
米国・ワシントン州。2016年、トランスジェンダーのトイレ利用を制限する法案が議論にあがった。自分たちの物語を語ることで抗う、トランスジェンダーの子を持つ親たちを追ったドキュメンタリー作品。

場所 : オンライン (zoom)  
参加費 : 700円  
申込 : 下記 QR コードから  
主催 : カラフルチャイルド



### 市民企画講座

6/19 (土)  
10:00 ~ 12:00

### コロナ禍での女性の労働問題

長引く新型コロナウイルス感染拡大を受け、非正規雇用の女性が解雇や雇止め追い込まれるなど貧困の危機に直面している。「労働」と「ジェンダー」をキーワードに、現状と今後の展望を考える。  
※オンライン参加が困難な場合に限り、市役所第三別館会議室で、視聴可能  
◎ 竹信三恵子 (ジャーナリスト)

場所 : オンライン (zoom)  
参加費 : 無料  
申込・問合せ : 箕面市人権文化部人権施策室  
072-724-9720  
jinkeninfo@maple.city.minoh.lg.jp

### 映画&トーク

6/20 (日)  
12:45 ~

### 映画「弁当の日」上映会&トークセッション

「子どものために…」と親が先回りして手を出すことは、子どもの生きる力を奪っているのかもしれない…子どもたち自身が献立から買い物、調理、片付けすべてを行い成長する姿に「自立」「育ち」とは何かを考える。  
◎ 「弁当の日」/ 監督: 安武信吾 / 2021年 / 97分 / 日本  
◎ 作品上映後、トークセッション

場所 : すてっぷホール (とよなか男女共同参画推進センター)  
参加費 : 前売 500円  
当日 700円 ※空席のある場合のみ  
高校生以下 無料  
主催・申込 : あしたの暮らしとよなか、種まきシアター in とよなか



### 講演会

6/26 (土)  
14:00 ~ 16:00

### 自分と向き合う対話のチカラ

映画「プリズン・サークル」の中で紹介される、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り更生を促す、TC (Therapeutic Community=回復共同体) というプログラム開発者が「対話」について話す。  
◎ 藤岡淳子 (島根あさひ社会復帰促進センター教育アドバイザー)

場所 : 人権平和センター豊中 (豊中市岡町北3-13-7)  
参加費 : 無料  
定員 : 40名 (要申込)  
主催・申込 : (一財) とよなか人権文化まちづくり協会  
06-6841-5300

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接  
のせて服をつくって  
みましょう!  
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得

昭和45~47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ : 〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151  
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

## めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 会議の日程は変更になる場合がありますので、参加される際は、事前に協会までお問合せください。

## めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいますか。置いてくださるお店なども大歓迎! フォームから必要事項を記入ください。



## 編 集 後 記

バーバラ・クーニー作『ルピナスさん』は、私の好きな絵本である。後半、ページごとにあふれるルピナスの花は美しく、幸せな気持ちにしてくれる。

「作者はルピナスの花と重ねあわせて独立心にあふれた一女性の人生を物語にしたが、特別な人間の、特別な人生を語ったわけではない。生きるという事の意味を私たちに語り掛けているのだ」と奥付にはある。祖父から遠い国の話をしてもらい、「世の中を美しくするために何かしてもらいたいのだよ」と言われたアリス(ミス・ランフィアス)は、成長して、南の島、高い山、ジャングルと世界中を旅したのち国に帰り、海のそばに住んだ。祖父との約束を考えながら、とりあえず家の周りにいちばん好きなルピナスの種をまいたが、次の年は病気になってしまう。しかし、春が来て具合が良くなり丘の向こうまで行った彼女が見たものは、辺り一面に咲き乱れるルピナスの花だった。村中をルピナスでいっぱいになりたいという素晴らしい考えが浮かび種をまいて歩いた彼女は、いつしかルピナスさんと呼ばれるようになる。

私はミス・ランフィアスの顎をあげて、風に向かって歩いている姿が好きである。児童文学者の灰島かり氏は「自分の人生を自分で引き受けている人は、こういう姿勢で歩くに違いない」と述べている。

私もこんなふうに行きたいと思うけれど、コロナ禍の中で今何ができるだろうと考えてしまう。世の中のために、特別な人間ではない私にもできる事は何だろう、模索する日々である。(井嶋)



▲絵本の表紙より

## アクセスマップ



## バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」  
または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
- (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m  
※「多文化交流センター前」には停まりません。

## 阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

## 「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、山下三千世、結城なお、鷺尾則昭

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みの多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/